

常総学院同窓会々報

発行 / 常総学院高等学校同窓会 編集 / 同窓会会報編集委員会
委員長 / 飯田晃久 印刷 / ㈱大鵬社



ご挨拶



春の日差しが煌めく頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

会報誌の発行も今回で二十四回目となり、この時期になると本誌を通じて皆様にご挨拶出来ることを嬉しく思います。私が卒業してから四十年以上が経過しておりますが、同窓会活動を通じて卒業生や学校関係者の皆さまとの絆は、時代を経てより一層深まっているように感じます。僭越ながらこの場を借りて、昨年を振り返りながらご挨拶をさせていただきます。

昨年は、凄惨なニュースからの年明けとなりました。一月一日に発生した能登半島地震により多くの方が犠牲になりました。暗い気持ちでの年明けとなったことでしょう。さらに復興もままならない最中、九月の台風被害も重なり今尚甚大な被害が生じています。被害にあつた方々や、今尚避難所生活を余儀なくされている方に謹んでお悔み申し上げます。一方で、常総学院では生徒が自らの活動で四十万円以上の義援金を集めて二月一日に寄付を行ったと聞いております。自分たちが出来ることを考え、迅速に行動に移す姿はまさに

常総学院高等学校同窓会

会長 飯田 晃久

社会の貢献できるリーダー像であると私は考えます。

さて、スポーツに目を向けますとメジャーリーグの大谷翔平選手の活躍が目を惹きまします。卒業生も世界で大活躍をした一年でした。本誌へも寄稿頂きましたが、三十二期卒の鈴木昭汰選手は侍ジャパンに選出され、主戦力として活躍し準優勝に貢献しました。同じく三十二期卒の免澤朋美選手は、パリオリンピックに出場し大舞台で美しい跳躍を見せてくれました。在校生の活躍も素晴らしい。在校生の坂田丹寧さんは水泳の飛び込み競技で見事インターハイを制し、世界ジュニア選手権へも出場しました。オリンピックでの活躍を大いに期待しております。皆さんの活躍は在校生・卒業生だけでなく日本中たくさんの人々に感動を与えてくれました。本当に素晴らしいです。

最後になりましたが、常総学院の卒業生は二万五千人を超え様々な分野で活躍しています。今後同窓会では、卒業生同士のコミュニケーションを図れるよう異業種交流会などの実施も検討しております。同窓会活動を通じて、常総学院ならびに地域の発展のため皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



常総学院高等学校同窓会 公式LINEアカウント開設のお知らせ

コチラから
ご登録よろしく
お願いいたします!

昨年度より、主にホームページでの情報発信に注力をして参りましたが、部活動の活動実績やタイムリーな情報公開を目的として公式LINEアカウントを開設しました。

ホームページとあわせて、携帯で見やすい情報展開を目指して参ります。

ご意見ございましたら、ぜひお問い合わせフォームより皆様のお声をお聞かせください。



オフィシャルグッズ販売について



同窓会では、常総学院のオフィシャルグッズを制作・販売しております。現在は、ポロシャツを臙脂とネイビーの2パターンでご用意しております。サイズもSS~5Lまで揃えておりますので、ご興味ある方は、ホームページよりご注文ください。

高性能空気清浄機を寄贈しました!



同窓会より、中学校と高校にあわせて77台の高性能空気清浄機を寄贈しました。

新型コロナウイルスや季節性インフルエンザをはじめとした感染症だけでなく、花粉症対策や消臭効果にも優れている「7Gards 2X Pro」は、30分の短時間で浮遊ウイルスの99%以上除去することが実証されています。

「本来は次年度の寄贈に向けて準備を進めておりましたが、特にインフルエンザが過去10年でも稀に見る流行となった為、計画を前倒して寄贈することとしました。除菌だけでなく、消臭効果も非常に高く給食後や雨天時の効果は生徒たちからも非常に好評です。」

常友祭で卒業生とコラボ企画を実施しました!

オリジナルバウムクーヘン

生徒会役員・文化祭実行委員の本部企画として、「和バウムクーヘン工房つか本」さんご協力のもと、常総オリジナルバウムクーヘン(スイートポテト、マロン、メープル、チョコレート、キャラメル)を販売しました!



常総屋出店!

今年も常総屋は大盛況でした。唐揚げとおしるこは午前中に完売となりました!

運営にご協力いただきました幹事の皆さま、ありがとうございました。



地域清掃活動への協賛

3年生の恒例行事となりつつある、地域清掃活動を本年度も実施しました。

高校3学年希望者約70名を中心に、土浦ライオンズクラブ、同窓会、本校教職員延べ100人を超える人数で、本校周辺・荒川沖駅から本校区間・竹園東公園から本校区間の3区間の清掃活動を実施しました。実行委員長の澤村さんの掛け声から始まった活動は、2トラック4台分近くもゴミを回収するに至り、生徒達から「想像の遥かに上のゴミの量でした」との声が散見されました。生徒達にとっては達成感だけでなく現実社会への複雑な思いを抱く良い機会であった様です。最後は美味しい焼き芋を食べ笑顔で終わることができました。今後も地域社会への貢献を通しながら”学び”の機会を子供たちと一緒に作っていただきたいと思います。

ご協力頂きました土浦ライオンズクラブの皆様、誠にありがとうございました。



高校生便り

生徒会長挨拶

2年 中田 潤

生徒会長の2年の中田潤です。私は特進選抜コースEXクラスに所属しており、日々むたすら勉学に励んでいます。平日は最低でも4時間、休日は多いときには一日14時間以上学習をしており、それに加えて生徒会長としての役割も担っているのですが、とても忙しく充実した高校生を送っています。

そんな私には任期中、これだけ行いたいということがあります。それは、常総学院を進化させて、後世に引き継ぐということです。常総学院では昨年度、様々な校則が改定されました。多くの校則が緩和されたのです。変化というものは一長一短があり、生徒会では今後の方向性の検討を重ねています。多くの苦難がありますが、私は必ずこの常総学院を、伝統に恥じめ常総学院のまま後世に繋いでいきます。「挨拶の習慣」「何事にも全力で取り組む姿勢」「感謝の気持ちをお忘れなく」と先輩達が当たり前のように行ってきたことを絶やすことなく、今まで以上の常総学院にして後世に繋いでいきたいと思っています。

卒業生の皆さん。皆さんが培ってきた伝統がどのような発展を遂げているか、是非一度ご覧になってみてください。いつでもお待ちしております。

【第18回全日本学生・ジュニア短歌大会に「優良賞を受賞」】

2年 直井 響煌

「瀬戸際に誰が放つかこの一打俺が打たな

きや誰が打つのか」

私は野球部なので野球に関する短歌を作成しました。私がこの短歌を作成するにあたって心掛けたことは、野球に対する思いを率直に表現できるようにしたこと。また、私自身の在りたい姿という願望を込めて作成しました。

賞を頂いた時の気持ちとしては、驚きもありました。がとにかく嬉しい気持ちでいっぱいでした。きっかけを作ってくださった菅野先生にも感謝を述べたいです。卒業された方々へ

常総学院は今現在も伝統を残しつつ、進化を求め学校となっています。今後もこの素晴らしい学校がより発展できるように努め、継承できるように頑張ります！



中田潤さんと直井響煌さん

【水泳部 坂田丹寧さん 女子板飛び込みで 高校インターハイを制覇】

2年 坂田 丹寧

3年生の坂田丹寧さんが8月のインターハイで初優勝を飾りました。得意の前逆宙返り2回半抱え方で出場者最高得点をたたき出し、自己ベストも更新しました。父と母に感謝したいと嬉しそうに話す姿が印象的でした。

インターハイ後は、11月に開催された世界ジュニア選手権にも参加し、世界の壁の高さを感じつつも戦える手ごたえを感じることができたようです。

卒業後は県外の大学に進学し、より高いレベルの練習を行い、オリンピックの切

符を目指します！



常総学院 出身の先生を紹介しします！

第29期生 海老原 茉奈さん

私は、つくば市内の保育園で働き、保育士として子供たちと一緒に毎日過ごし9年目となります。

在学中は、吹奏楽部に所属し全国大会で金賞を取るため日々仲間たちと練習に励んでいました。そこで教わったことは、努力の仕方です。好きなこともない、勉強も得意ではない、ただただ普通の私が毎日練習をし、努力し続けることで成長出来ること。そして一つの目標に向かって皆で取り組む難しさと素晴らしい学びました。今までの人生の中で一番自分が頑張ったと思える時間でした。

残念ながら全国で金賞を獲得するという目標は叶いませんでしたが、素敵な劇場で第九という大曲を演奏できたこと、そして仲間たちと過ごしたかけがえのない日々は、今でも鮮明に覚えており、宝物となっています。

高校卒業後は、保育士になるために短期大学に進学し、幼児教育学科にて保育の術を学びました。カリキュラムが詰め込まれている為、座学・実技・実習など毎日があったという間で、休息が欲しいと思うこともありましたが、高校時代に学んだ努力の仕方・今は辛くとも諦めない事で結果が出ることを知っていたので、途中で投げ出すことなく学習することができ、今があります。

私が就職をしたにしろ保育園は、子どもたちのありのままを受け止め、愛情いっぱい子どもたちに寄り添う保育園です。運動会や発表会といった決まった行事はなく、活動する中でやりたいことを発表したということなどその都度展開していき、新たな活動へと発展させていきます。保育者としての役割は、子どもたちが気づいたこと、発見したことを拾い、活動へ繋げていくこと、サポートです。主役は子どもたちなので、口を出さずに見守ることも……。

年長児を担任した際、貝塚がある公園に出かけたことから、縄文時代の暮らしに興味を持ち、話し合いの場を設けたり、絵本や図鑑で昔の暮らしについて調べたりする中で、「自分の目で見てみたい！」と思い、その後資料館や博物館に出かけ、火おこし体験や廃材を使用して竪穴式住居を作りました。

その中で子どもたちが学んだことは、今の暮らしは縄文時代の人の暮らしがあってこそ豊かに暮らすことが出来ているということでした。どんな事に興味を持つかは子どもたち次第なので1日1日新鮮で楽しく面白く毎日やらされるのではなく、やりたいからやる！という意欲を持つている子どもたちの表情は生き活きとしており、とても眩しいのです。

これからの未来を生きていく子どもたちに今必要なことは何かあるかと考えた時に、多様性が騒がれているこのご時世、自分のことが好きであり、意見が言える。思いを伝えることが出来るのが大切だと私は感じます。毎日保育園に来てくれてありがとう。笑っている姿・泣いている姿・怒っている姿・どんな姿も素敵なのだよと伝えながら、これからの気持ちに寄り添いながら保育をしていきたいと思えます。



中学生便り

the World Scholar's Cup 世界大会決勝へ出場

3年1組 後藤 泰斗

私は茨城県の教育委員会が主催するプログラム「NGGL」に参加し、その活動の一環で英語を共通言語とする国際大会「World Scholar's Cup (WSC)」に出場しました。

WSCはRegional Round、Global Round、そして決勝大会「Tournament of Champions (ToC)」の三段階で構成され、私は幸運にもToCに進出してアメリカのイェール大学を訪れる機会を得ました。この大会には多国籍の中高生が参加しており、クイズやディベート、ライティングなどを通じて交流を深めることができました。また、イェール大学の見学を通じて進路について考える良い機会にもなり、大変有意義な経験となりました。



英語技能検定1級に合格

3年1組 金子 晟万

2024年6月、私は英検1級を受験しました。準1級に合格してからの1年半は、決して良いことばかりではありませんでした。必要となる語彙の数も長文の質も大きく異なります。初めて過去問を解いた際は、ほとんど正解できませんでした。

でも、友達の応援や先生方のご指導により、徐々に成績を伸ばし、結果的に8割強の問題を正解できました。2次試験でも、ネイティブの先生の丁寧な指導が成長に直結し、見事合格することができました。これは私1人の努力でなく、常総学院の皆で切磋琢磨できる良い環境によるものです。

今後は、TOEFL等で実用的な英語を身につけます。私の活動に関与して頂いた方々には、本当に感謝しています。



高円宮杯第76回 全日本中学校英語弁論大会 茨城県大会 入賞

3年1組 平岡 蒼空

高円宮杯第76回全日本中学校英語弁論大会茨城県大会に出場し、3年1組平岡蒼空さんが読売新聞社賞を受賞しました。本大会は戦後日本の立ち直りのために青少年の英語教育が必要と考え、1949年から開催されている伝統のある弁論大会です。現在では校内予選大会の参加者が5万人から10万人を数え、日本の英語教育の幅広い底辺を形作る大きな大会となっています。

“The moment my biggest enemy becomes my best ally.”というタイトルでスピーチを行い、レベルの高い戦いの中で50名参加の予選会から上位9名の決勝ラウンドに進出しました。

惜しくも全国大会出場の切符は逃してしまいましたが、素晴らしい賞を受賞しました。



きこの研究

佐藤 風喜 先生

令和5年度から東京電機とのコラボ企画として始まったキノコの研究も2年目が終わろうとしています。

今年度は、ニオウシメジの露地栽培や培地材料の比較などの新たな研究と、昨年度の考察を踏まえて更に発展した形でのプランター栽培を主な活動としてきました。

授業内で行う結果が用意されている単発の実験ではなく、継続的に行うからこそ実験・観察を行い、疑問や問題を発見し、その解消のための計画を考えると、サイクルを経験してもらえ、高度で実践的な研究の機会とすることができているように思います。

年内入試への活用も視野に入れながら、今後も研究を発展的に継続していき、多くの生徒に研究の深みを実感してもらいたいです。





第32期生
千葉ロッテマリーンズ所属
鈴木昭汰さん

卒業生便り

その後、バンテリンドームナゴヤ(名古屋市)で親善試合を行った後、台湾で一週間ほど大会期間がありました。(決勝トーナメントの)東京ドームに戻ってから準決勝、決勝という日程だったので、(チームとしては)宮崎キャンプからちょうど一ヶ月ぐらいの日程を過ごしました。

チームのことを最優先でプレーしてきましたが、普段他チームのメンバーと過ごすのは慣れない事も多く、精神的なきつさも感じました。シーズン中は長くても2週間の遠征なので、今回の一カ月間遠征は長く感じました。

から尊敬して見ていましたが、直接いんなことを吸収できたことで、私自身大きく飛躍することができましたし、なぜ松井さんが活躍し続けることが出来るのか具体的にわかった気がします。

シーズン中もよく連絡を取らせてもらいましたが1年間継続して力を出せたのは良い状態ばかりではない中で、気持ちを引きずることなく次に進むことが出来るようなやりとりがあったからだと思います。逆に松井さんと自主トレを行ってなければ昨シーズンの結果はなかったと思いますし、どんなシーズンになったのか怖さを感じることもあります。

Q11 結果を残し続けるために必要なことは何ですか？

失敗しない人は絶対いないじゃないですか？だからきつかけや考え方だと思っています。

日本の野球は、改めてレベルが高いなと思いました。相手が弱いということではなく、日本は細かく一点を確実に取っていくスタイルに対して、海外の選手はポテンシャルが高く個の力のぶつかり合いのように感じました。

あと昨シーズンは良い時も悪い時もすべての時期ですべて同じような準備をして試合に臨みました。過ごし方を同じにしたことで、自分の感覚の違いを感じる事が出来ました。

僕の場合は投げる時に0点を抑えて次につながるんですが、良い球(納得行く球)を投げたから良いということとはまったくありません。

Q12 シーズン中の登板で気に入っていることは？

ブルペンから気にしている選手がいますが、僕はブルペンで投げられても試合で同じような数値が出るとは思いません。試合の時の数値だけを気にしてデータを活用しています。同じコースで打たれるときに抑えられるときの違いなどを研究しています。

ただ、個人的には一人一人のポテンシャルが高かったからこそ、対戦してみても楽しかったと感じさせてくれました。なので、今回の一カ月間遠征は長く感じました。

今までのシーズンとの過ごし方に対する考え方を深くすることが出来たことがとても良かったです。

自分の納得した球を投げたら今日がダメでも次につながると思っている人が多いのかなと思います。僕自身いろんな選手を見てきていますが、僕の仕事はどの場面でも点を取られてはいけないので、今日のこの球が投げられているから大丈夫"はないです。そのことにこだわっている人は実際次につながるような結果が残せていないと思います。

Q13 シーズン中の登板で気に入っていることは？

それは自分が投げた球と対戦相手をしつかり日々研究する必要があるからです。といっても僕自身今シーズン打たれたら絶対にダメなので打たれた次の試合を大切に準備していきたいと思っています。

Q14 シーズン中の登板で気に入っていることは？

ボールの回転数や回転軌道など気にしています。今はトラックマンといった道具で数値を出してもらっているので、ロッテのアナライザーの方と話しながら投球しています。

Q1 昨シーズンは日本代表の二員としてプレミア12を戦いましたが、感想を教えてください。

トップチームの代表は自分にとって初めてでした。やはり日本代表という憧れの舞台に選ばれ、自分ではちょっと信じられない状態でした。ですが、いろいろな選手、スタッフのみなさん、そして井端監督とプレーでき、凄く貴重な経験をさせて頂きました。

優勝できなかったのがとても悔しかったのですが、次のシーズンに向けて進むことや、これからの野球人生につながる1ヶ月を過ごすことができました。

近年、ロッテでは2年連続で思うような結果を残せている選手が少ないので、私自身もなかなかうまくいかないことが出てきても登板数にはこだわっていきなさいと思います。相手が研究してくると思うのでそれ以上に進化し成長していきたいです。

Q15 選ばれるときはアマチュア時代ということもあり、嬉しいという気持ちだけだった気がします。しかし、今回はうれい気持ちはもちろんありますが、その反面で本格的に日の丸を背負うということに対する緊張感がありました。

Q16 大会まではどのような日程で活動していましたか？

10月下旬から宮崎県で2週間ほど合宿をしまし

た。その後、バンテリンドームナゴヤ(名古屋市)で親善試合を行った後、台湾で一週間ほど大会期間がありました。(決勝トーナメントの)東京ドームに戻ってから準決勝、決勝という日程だったので、(チームとしては)宮崎キャンプからちょうど一ヶ月ぐらいの日程を過ごしました。

Q2 中学生時代にはU-15に選出されていましたが違いはありましたか？

U-15に選ばれるときはアマチュア時代ということもあり、嬉しいという気持ちだけだった気がします。しかし、今回はうれい気持ちはもちろんありますが、その反面で本格的に日の丸を背負うということに対する緊張感がありました。

絶対に行きます。今回はWBCでするので選ばれるように頑張りたいです。シーズンは143試合ですが、クライマックスや日本シリーズ、今回のプレミア12など負られない試合しかないで、本当に高校野球のトーナメントを戦っているような緊張感がある

Q3 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q4 世界の舞台を経験し、日本の野球のレベルはどう感じましたか？

Q5 決勝戦の台湾戦はどのような試合でしたか？

Q6 日本と海外のマウンドの違いはありましたか？

Q7 今後代表に選出されたらどうしますか？(代表戦のほとんどがシーズンオフ)

Q8 シーズンは長いですが体調の整え方などありますか？

Q9 シーズンに向けてはどのように取り組みますか？

Q10 昨シーズン前に松井裕樹(パドレス)選手との自主トレが良かったと聞きますがいかがですか？

Q11 結果を残し続けるために必要なことは何ですか？

Q12 シーズン中の登板で気に入っていることは？

Q13 シーズン中の登板で気に入っていることは？

Q14 シーズン中の登板で気に入っていることは？

Q15 選ばれるときはアマチュア時代ということもあり、嬉しいという気持ちだけだった気がします。しかし、今回はうれい気持ちはもちろんありますが、その反面で本格的に日の丸を背負うということに対する緊張感がありました。

Q16 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q17 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q18 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q19 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q20 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q21 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q22 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q23 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q24 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q25 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q26 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q27 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q28 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q29 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q30 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q31 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q32 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q33 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q34 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q35 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q36 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q37 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q38 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q39 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q40 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q41 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q42 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q43 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q44 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q45 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q46 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q47 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q48 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q49 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q50 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q51 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q52 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q53 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q54 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q55 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q56 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q57 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q58 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q59 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q60 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q61 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q62 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q63 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q64 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q65 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q66 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q67 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q68 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q69 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q70 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q71 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q72 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q73 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q74 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q75 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q76 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q77 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q78 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q79 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q80 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q81 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q82 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q83 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q84 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q85 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q86 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q87 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q88 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q89 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q90 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q91 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q92 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q93 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q94 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q95 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q96 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q97 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q98 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q99 大会まではどのような日程で活動していましたか？

Q100 大会まではどのような日程で活動していましたか？

実際ブルペンではスピードボールを投げようとは思っておらず、(球速も)140キロ中盤あたりしか出ません。

しかし試合では140キロ後半から150キロは出ます。なのでブルペンでの数値にはあまり興味はありません。

Q13 野球を嫌いになったりしませんか？

嫌いにならないというか、(野球を通じて)成長したい1プロ野球選手として活躍したい1との気持ちで今まで続けてきました。大学入学当初はスピードだけを考え、と真ん中でも良い球投げてやるという本当に浅はかだったなと思っています。2,3年生ではなかなか自分が思う結果は出せませんでした。心が折れたことはありません。まわりはもうここまでかかと思っているだろうとは思っていましたが「本当の俺はこれではないよ。」と思いつつ夢が無理だなと思ったこと野球を嫌いになったことはなかったです。

Q14 今シーズンに向けての意気込みをお願いします。

今シーズン結果を残し継続して自分の過ごし方を確立させていきたいです。その中でも昨シーズンと同じことを行っていれば結果が残せるかということもまったく違って、相手は研究してくると思うので変化を恐れることなく進化を続けていきたいと思えます。その中でもさきほど言いましたが、失敗しない人はいないので今シーズン打たれた後の試合を大切にしていきたいと思えます。シーズン中いろんな事が待ち受けていると思います。打たれて結果が残らない時期があってもトータルで見たとときに今シーズンも「鈴木昭次活躍したな」と思ってもらえるような成績を残したいです。

Q15 最後に同窓会の皆さんへメッセージをお願いします。

常総学院OBとしてもっとプロの世界で活躍する姿を見せられるように頑張りますので皆さん応援よろしくお願いします。



富士通 陸上競技部
第32期生 兎澤 朋美さん



Q1 24年のパリオリンピックを振り返って、感想を教えてください。

一番初めに来るのは悔しいという気持ちです。納得いく記録を残すことが出来なかったことが悔しかったです。一方で東京大会(前回大会)を経験し、今回が2大会目という点で比較すると、楽しかったなと思えるようになりました。

東京大会は自国開催というのがすごく(重圧として)大きく感じましたが、新型コロナウイルスの影響で無観客になり、ほぼ空っぽのスタジアムで競技をするという独特な緊張感の中で競技を行いました。

Q2 パリで出場した走幅跳はいかがでしたか？

今回は100mと走幅跳に出場しました。走幅跳は合計で6本跳ぶ(予選3本、決勝3本)ことができ、最初の3本で良い記録を出した上位8名(メダルを争う)後半の3本へと進むことが出来る形となっていたのですが、私は前半1本目、2本目共にファウル(記録無し)となり、記録の無い状態となったことで頭が真っ白な状態になりました。

そのため3本目は、ただただ踏切ラインを超えないよう、安全に記録を残すことだけを考えて臨みました。(結果的にはメダル争いの)後半に進むことが出来ましたが、4本目と5本目でまたしてもファウルとなってしまう、(最後の)6本目は3本目と同じ気持ちで跳ぶことになってしまいました。

毎回跳んだあとはコーチと会話をして(修正点を意識して)次に臨むことができるのですが、今大会はその中できなかな修正することができませんでした。なんだろう、なんだろうと考えると考えれば考えるほど悪い方に進んでしまい、(今振り返ると、切り替

えることなくズルズル跳んでしまったことが記録を残すだけになった原因だと思っています。

本当に「これまで準備してきたこの数年間は何だったんだろう」と思えば思うほど悔しいという言葉では表せないくらい、なんとも言いえない感情になった大会でした。

Q3 走幅跳はどのような点が難しいのでしょうか？難しさとは？

100mの競技に比べて走幅跳は、助走・踏切・空中姿勢・着地という様々な局面に分かれていて、さまざまな技術の組み合わせによって、良い記録を出すことができると思えます。まだまだ一つ一つの技術を磨くことが出来ると私は思っているため、その可能性を信じて頑張りたいと思っています。

Q4 世界のトップを目指すには、どのくらいの記録が必要でしょうか？トップ選手との差は？

記録では5mというのが大会での基準となります。様々な選手の自己ベスト記録を見るともっと(レベル)高い所の記録ですが、大会で考えられる様々な要因を踏まえると、5mというのが今大会でのメダルを狙える記録でした。

Q5 パリでの走幅跳の気づきを教えてください。

どんな状況要因を受けても結果を出すことが出来るようにしたいです。そして5mを捉えられる可能性は充分にあると思っています。練習の成果をどれだけ試合本番で出すか、体現していくことが大切になります。

今シーズンは練習してきた中で、5mの跳躍のアーチは上がってきています。

本番ではなかなか難しいところではありますが、私自身身が取り組まないといけないことがいっぱいあります。直さないといけないところもたくさんあるので、一つ一つの動きを理想に近づけていき、地道な作業ではあります。やりがいを感じています。

Q6 100mはいかがでしたか？どうでしたか？

(100m)はなかなか競技性としては上位を狙うことが難しいのですが、走幅跳に大きく活かすことができると思いがながら競技と向き合っています。

私は速く走れた方が遠くに跳べるものだと考えていて、速く走れることで助走のスピードが上がります。より遠くへ跳ぶことができると思っています。(バラスポーツの場合)同じ障害書ことにクラス分けをしていて、私の場合、100mのカテゴリーだと63というクラスで走っていますが、なかなかトップ

を取ることは難しいです。

Q7 競技場ごとに特徴があるときありますが、パリの会場はどうでしたか？

今回のパリもそうですが、練習会場の競技場トラックの材質と試合会場の競技場の材質(モンドトラックと呼ばれる新しい全天候舗装材)は全く別のものに感じました。(走幅跳では)練習会場で試合を想定した距離を合わせていても、試合会場で使えるかと言われると、全てを変えていかないといけない感じでした。私だけでは無く多くの選手たちも悩まされていると思えました。義足だとバネの反発で地面の影響を大きく受けやすく、全天候舗装材の違いが大きな影響を与えるのでトップ選手の記録を出すことの素晴らしさを感じます。

Q8 無観客だった東京を経験したなかで、観客が入ったパリ大会の会場はどのように見えましたか？

私の試合日程は後半だったので、前半の大会の様子を見て雰囲気は先に味わうことが出来ました。スタジアムの盛り上がり方がものすごく、フランスの人たちの興奮や熱量を味わうことができたと同時に、観客の皆さんは競技の見方や盛り上げ方をすごく知っているなと感じました。

いざ自分が本番を迎えても観客席で感じていたようなものすごい盛り上がりを感じることができ、最高に気持ちが良い中で競技を行うことができました。

Q9 最高の場所に行くことができましたが、結果についてはいかがでしたか？

結果としては、思うような記録を出すことが出来なかったこと、やはり自分のイメージしていた結果を出したり残したりできるほど甘くないなと改めて思いました。

その中で、私と同じ走幅跳のトップ選手たちはどんな状況であっても、最後の最後にしっかりと(コンディションを)合わせて結果を残していくという所も(世界との違いを感じた)一つはありました。

Q10 試合の中でコーチとの会話を重視しているそうですが、どんな会話を？

現在はドイツ人のコーチにも指導してもらっているのですが、そのコーチから「笑って競技しなさい」「もっとリラックスして行いなさい」といった声掛けが増えました。記録を意識しているなかでも、少しずつ(リラックスすることが)体現できるようになって

きていると思います。

Q11 技術的な会話もあるのですか？

基本的にファウルをしているか、していないのかで変わってきますが、ファウルをした場合は何cm出ていたかを話します。(何cm出ていたかは審判からも教えてもらえるので、それを基に助走の修正をしていきます。)

助走にも前半と半ばと後半とさまざまな要素が含まれています。前半スピードに乗りすぎている場合には「力まないで」と、逆にスピードが足りず踏切版に届かない時は「前半の踏み込みを強くして」と、切り替えのときの形など具体的なアドバイスを受ける時もありますが、試合中に細かく技術の話を受けても、すぐに修正するのは難しいのと、それによって大きく崩れてしまうリスクが伴ってしまいます。

私の場合、練習の時に細かな部分や技術面を追い求めているので、どちらかと言えば少し抽象的な形で声掛けしてもらえようと思っています。

Q12 スタート位置の決め方にこだわりは？

一番調子の良い時の歩数に合わせて決めています。そこを基準としてスタート位置の前後の調整をする形です。しかし、屋外競技なので風などの状況で大きく歩幅に影響を受けます。向かい風では抵抗を受けるので、スタート位置を何10cm前に出す場合や、追い風の場合は歩幅が大きくなりファウルしやすくなってしまうので、後ろに下げたりします。そのあたりの調整が難しい所です。ただ、走幅跳は試合前に公式練習の時間を取ってもらえるので、何本か跳んで本番に臨みますが、今大会はファウルが多かったです。要因として競技場の舗装材の硬さによる反発が影響しているの、スタート位置の基準は設けていますが、一つ一つの競技場で大きく歩幅が変わってくるため、その都度行う調整が大きく記録に影響してくると思います。

Q13 大会後は燃え尽きるタイプですか？

東京大会の時は、モチベーション回復に時間がすごくかかりました。

何をやる気も起きないし、気づけば目から涙が出てくるし、みたいな感じがしばらく続いていました。

2ヶ月たったぐらいの時に、いよいよ父親に「いつまで何もしないでそんな感じではいるの？」と言われ、「いい加減にしろ！」「みたいな感じで言われたことで、少しずつ切り替えていくことができました。

今回も悔しい気持ちはありましたが、東京大会に

比べると競技に向き合うことができ、良い意味で気持ちの切り替えが出来ているシーズンだと思っているので、東京の時ほど沈みはしなかったです。沈んだ深さは同じだったかも知れませんが、気持ちの戻りは早かったと思います。私のコーチは「もう今年はパリ終わったらシーズンも終わりだから思いっきり羽根伸ばしてきなさい」というタイプなので、私自身大会後は「緊張の糸が切れた感じであらわゆる『わーわー』って感じでした。

Q14 現在の練習拠点は？

所属先の富士通では長距離と競歩はみんな一緒に練習していますが、短距離や跳躍系はそれぞれの拠点で練習をしています。出身大学で練習している人もいれば、全然違う自分の師事する専任コーチのところで練習している人もいます。

Q15 ドイツではどの街で活動していますか？

私は現在年間の半分ぐらいドイツで練習しています。中西部にあるレバークーゼンという街を拠点としています。あまり大きな街ではないですが過ごしやすいです。規模で言うとつくばみたいな感じだと思います。大きな街を基準に言えば、ケルンから20分ぐらいの距離感のところになります。言葉は英語で会話をしますが、ドイツ語を話せるようになりたいなと思いつつ日本に戻ると「まあいいかなあ」となっています。

Q16 ドイツを拠点とするきっかけは？

私が大学入学後に競技を始め、その時に義足のメーカーが主催しているランニングクリニックというイベントがあり参加しました。今は引退されていますが、リオ大会とロンドン大会で金メダルなどを取られているハイリッヒ・ポポフさんと、山本篤さん(新日本住設株式会社)の2人が講師をしていて、何度かコミュニケーションをとるうちに一緒に合宿やトレーニングを行いたいと思うようになりました。また、義足のメーカーの本社もドイツにあるので良い経験になると思いました。実際ドイツのチームの競技レベルは高く、自分もこのクラブチーム環境でやりたいなと思うようになったからです。

Q17 今後の競技生活についてどのように考えていますか？

パラリンピックの場合、オリンピックの選手より長く競技を続けられている方が多いと言われていいます。その一つの要因が、私たちの場合だと義足を扱うので、義足を扱う技術を高めることで競技生活を長

く過ごすことができます。

オリンピックの陸上競技だと体一つという形になるので、(パラ競技と)比較するとさまざまな要素で競技を追求していくことが出来ると思います。しかし求められている結果や、たどり着きたい目標には達していないので、自分がこつやりきったなと思えるまでは競技を続けたいと思っています。今回の2028年のアメリカ・ロサンゼルス大会の出場も、もちろん目指しています。

Q18 病気を機に運動からは少し離れた時期があったそうですね？

小学五年生の時に骨肉腫を発症し、足を切断したのですが、それまではすごく体を動かすのが好きな子供で、色々やっていました。この病気を患って、足を切ったことを境に全然しなくなりまして、中学校二年生ぐらいの時に、陸上競技用の義足をつける体験などを行いました。

その時は1か月に一度程度の体験練習をしていましたが、常総学院高校に入学してからは行くのをやめていました。大学受験となった時期に、次の年度から日本体育大学でパラアスリートをサポートする制度が始まるということを知り、受験することにしました。

さらに高校三年の時にリオ大会が行われており、テレビで見たときに「選手の皆さんがとても格好良いな。自分もこういうことがしたいな」という思いが芽生えました。

何もやってないところからのスタートかつ、なにから始めていいかわからず、一度思考が止まってしまいました。が、(体を動かすことを)実現するためにはどうすればいいかという点では日本体育大学の制度が始まることはとてもタイミングが良かったと思います。

Q19 最後に同窓会の皆さんへメッセージをお願いします。

病気で足を切断したという話は重いかもしれませんが、この競技と出会いたくさんの人たちとの出会いがあり、私の人生じゃないと味わうことが出来なかったことがたくさんあるので私は幸せです！

人生を変えてもらって良い経験が出来ているので、別に足一本ないぐらい、そんな大したことないなって思えるようになってきました。

ですが、社会的に見れば障害者になるので、日本ではまだまだ特別扱いされることが多く、それに伴って、「かわいそう」、「大変だな」と思われてしまうこと

がありますが不幸ではまったくありません。いっぱい大変なことやめんどくさいことはありますけどね(笑)今の自分の生き方が幸せだし、幸せって思えるようになったし、この人生を歩んでいなかっただら出会えなかった人たちもすごくたくさんいます。

卒業して何年も経っているのに今こうして、高校に呼んでいただけているのも幸せだなって思います。だからこの記事を読んでいただけでいる同窓会の皆様にはすごく伝えたいです。私はとても幸せです！

ですが、昔の私と同じように「ああ、もう終わった」とか、自分「何もできないんだ」とか思ってる人は今もまだまだ少なからず、いや、すごくたくさんいるとは思っています。

そういう思いに対しては、今後自分が行ってもらったようにマイナスの感情が少しでもゼロに近づいて、それがプラスになるようなきっかけの一つになればいいなと思っています。競技成績はもちろんだ事にしていますが、そのこと以上にまわりに勇気を与える存在になりたいです。なにかスポーツをやってほしいとかいうわけではなく、世の中には多くの人がいて、さまざまな生き方ができると感じてほしいです。



進路指導室より

進路指導部長 谷川 義宜(16期生)

高校進路指導部部長の谷川と申します。今年度も同窓会員並びに教職員の皆様にご協力頂き、同窓会会報誌が刊行されたことを心からお祝い申し上げます。

さて、本校は開校以来、入学されたお子様方が卒業後に社会への貢献意識と実力を持てるよう教育課程を組み、進路目標として大学進学を掲げてきました。その方針は不易として本校に根付いており、これまで2万5千人近くの大学生を輩出しております。

昨年度の卒業生も、3年連続で東京大学へ2名、難関大学への多数進学を始めとした進路を実現しております。

近年、高大接続改革が本格化し、小中高大の教育機関での授業内容と形態の変化、そして大学受験における試験内容も学科試験だけでなく志望理由書、面接、小論文の実施など多様化しています。少子高齢化が進む中、子ども達の主体性の育成に重点を置き、評価するためです。時代の変化に合わせて教育も変化しております。

生徒達の小論文や面接の指導をする中で、大学の出題内容を確認すると社会課題に対してどのような考えを高校生が持っているかが重視されつつあることに気がきます。

例えば、『少子高齢化』というキーワードが頻出します。もちろん、生徒達は現在が「少子化の中にある」ということを知ってはいるのですが、少子化を身近で感じ問題点を感じているかと尋ねると具体的には回答が返ってこないことが多いのです。出てきたとしても、弟の小学校のクラスが自分のときよりも1クラス減った程度の内容です。これでは『少子化』について論じることはできません。

皆さんは実際にどう捉えられていますか？

各市町村の住民基本台帳を確認すると、近年の土浦市の高校1年生(15歳)は約1200人程度です。しかし、0歳人口は約700人程度であり、これは15年後の高校1年生の学年人数を表しています。およそ半数近くに減少してしまうのです。取手市を始め他市町村も同様です。逆に今の50歳の人口は15歳人口の2倍程度います。グラフに表すと減少推移が着実に加速しています。そのような状況の中、守谷市、つくば市は比較的全世代の人数が安定しています。これはつくばエクスプレス沿線であることから流入者が増えていることが要因でしょう。

さて、少子化を上記の『人口』の観点からだけ捉えても明らかな課題が見えてきます。

まずは本校を始めとした教育産業の減退が予想されます。子どもは顧客であり、需要と供給のバランスが崩れ始めます。一時は日本有数のマンモス校であった本校も、現在は定員割れを始めています。本当に子ども達が減っているのです。

そして、今の子ども達が大人になり、雇用に就き、家族を養い、生産者であり消費者として活躍する時代はどうでしょう。私も含め、高齢者人口の割合が激増し、私達が生活を営むための社会保障費用も比例して増えます。税金が増えなければ制度が破綻するので、やはり今の子ども達が大人になった際には納税を始め、多くの負担を背負わせてしまうことが想定されます。

数年前に国はNISAやiDeCoといった資産形成の政策を打ち出しました。この事実はこれから日本が進む社会を暗示しているように思えます。

他国に目を向ければ、同様に少子高齢化は先進国で問題化されています。欧米諸国が各国の事情に合わせて政策を打ち出していますが、政治状況は中々に苦しいようです。そもそも世界人口はこのたった150年間で5倍に膨れ上がっています。人口の増大と共に技術革新も飛躍的に進んできました。しかし、一部の先進国の人口はピークを過ぎ、途上国の成長に抜かれつつあります。生活品の多くを輸入品に頼っている日本にとっては、今後も物価が上がり続けるとなると、いっそう数十年後の生活に不安をもつこととなるかもしれません。

ここでは『少子高齢化』というたった一つのキーワードから連想される現状の課題を簡単に挙げました。このような脳内議論がまさに現代の高校生や大学生に求められています。

先にも触れましたが、大学入試の変化の中に「面接や小論文を重視する」点があります。受験生は、小論文で「少子高齢化」などの社会課題に関して論じ、面接で教授とそれらについて対話をするのです。ただ学科試験ができれば、偏差値が高ければ良いという時代はとうに終えたのだと思います。『日本の大学生は世界一勉強をしない』と揶揄された数十年間を回顧すると、決して否定しきれない事実を目にしてきました。大学に入学する目的が就職や職業選択のためだけでは駄目なのです。

VUCAと呼ばれる時代を子ども達がしっかりと歩み続けられるよう、本校の進路指導もwell-beingを目指し改善していきたいと強く思っております。

引き続き、皆様方からの暖かいご支援とご理解を賜れますようお願い申し上げます。



四年制大学過去5年間(2020~2024)合格実績

■国公立大学

大学名	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	計
北海道	2	0	0	0	3	5
東北	2	0	2	0	0	4
秋田	2	2	0	2	1	7
山形	2	2	0	0	2	6
茨城	21	21	26	35	31	134
筑波	12	6	11	13	11	53
宇都宮	1	1	0	0	1	3
群馬	3	1	1	1	0	6
埼玉	2	1	1	2	0	6
千葉	1	2	1	2	3	9
お茶の水女子	0	0	1	0	0	1
電気通信	1	1	1	1	1	5
東京	0	0	2	2	2	6
東京医科歯科	0	0	0	2	0	2
東京外国語	0	0	1	0	1	2
東京海洋	0	0	1	0	1	2
東京学芸	0	1	1	3	1	6
東京工業	0	2	0	0	0	2
横浜国立	0	0	0	0	1	1
新潟	2	0	0	0	0	2
富山	0	0	1	0	0	1
信州	0	1	2	1	0	4
静岡	1	0	0	0	0	1
大阪	0	0	0	1	1	2
京都	1	0	0	0	0	1
島根	0	1	0	0	0	1
岡山	0	1	0	0	0	1
愛媛	1	0	0	0	1	2
高知	0	0	0	2	0	2
鹿児島	1	0	0	0	1	2
琉球	0	1	1	1	1	4
国際教養	2	0	0	0	1	3
会津	1	0	0	0	0	1
福島県立医科	2	1	0	0	0	3
茨城県立医療	2	2	3	1	2	10
群馬県立県民健康科学	2	1	0	0	0	3
群馬県立女子	0	1	0	0	0	1
高崎経済	1	1	0	1	3	6
前橋工科	2	2	1	1	0	6
埼玉県立	0	2	0	0	0	2
東京都立	1	1	0	1	2	5
新潟県立	1	0	0	3	1	5
都留文科	1	0	2	4	1	8
長野	0	1	0	2	0	3
長野県立	1	1	0	0	0	2
高知工科	1	0	0	0	0	1
その他	18	29	14	31	27	119
計	90	86	73	112	100	461

■文科省管轄外大学校

大学名	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	計
防衛医科大学校	1	0	1	2	1	5
気象大学校	0	0	0	1	0	1
防衛大学校	18	19	23	24	14	98
その他	3	13	0	9	7	32
計	22	32	24	36	22	136

■私立大学

大学名	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	計
早稲田	5	5	13	7	2	32
慶應義塾	3	2	6	5	3	19
上智	5	6	5	7	7	30
東京理科	17	26	17	26	27	113
早慶上理	30	39	41	45	39	194
学習院	13	9	17	12	8	59
明治	17	20	19	21	11	88
青山学院	8	5	7	9	11	40
立教	6	6	11	8	10	41
中央	49	12	24	15	21	121
法政	28	15	30	37	30	140
GMARCH	121	67	108	102	91	489
成蹊	2	3	4	3	2	14
成城	4	2	2	1	7	16
明治学院	4	4	5	3	9	25
國學院	7	5	7	7	5	31
武蔵	2	2	3	2	4	13
成成明園武	19	16	21	16	27	99
日本	40	34	33	41	26	174
東洋	32	13	14	23	45	127
駒澤	14	9	16	22	11	72
専修	5	12	9	16	11	53
日東駒専	91	68	72	102	93	426
津田塾	2	0	2	1	2	7
東京女子	4	2	4	5	8	23
日本女子	7	3	6	2	8	26
学習院女子	1	0	1	2	6	10
聖心女子	3	3	4	2	1	13
昭和女子	3	1	3	7	3	17
大妻女子	7	7	7	11	6	38
共立女子	7	8	7	9	5	36
有名女子大	34	24	34	39	39	170
芝浦工業	6	4	15	37	2	64
工学院	3	3	2	4	8	20
東京電機	16	10	16	13	7	62
東京都市	11	2	12	5	10	40
四工大	36	19	45	59	27	186
北里	8	4	5	5	6	28
杏林	4	8	8	4	3	27
国際医療福祉	13	11	19	12	8	63
埼玉医科	1	4	1	2	0	8
自治医科	1	0	2	0	0	3
昭和	4	3	3	0	2	12
昭和薬科	1	0	0	1	0	2
順天堂	5	8	9	14	6	42
東京医科	0	1	0	0	1	2
東京女子医科	1	1	1	1	2	6
東京薬科	3	1	3	3	5	15
東邦	15	8	7	4	8	42
日本赤十字看護	0	1	0	0	0	1
星薬科	2	0	0	0	2	4
明治薬科	11	12	4	0	0	27
薬学医療系	69	62	62	46	43	282
関西	2	0	0	0	0	2
同志社	4	2	4	2	1	13
立命館	2	0	5	6	0	13
関関同立	8	2	9	8	1	28

その他多数

■医学部医学科

大学名	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	計
【国公立大学・大学校】						
東京医科歯科	0	0	0	1	0	1
北海道	0	0	0	0	1	1
筑波	1	0	1	2	1	5
山形	1	0	0	0	2	3
福島県立医科	1	0	0	0	0	1
防衛医科大学校	0	0	1	1	0	2
計	3	0	2	4	4	13
【私立大学】						
金沢医科	0	0	1	0	0	1
国際医療福祉	1	0	0	0	1	2
獨協医科	0	0	2	1	0	3
埼玉医科	1	2	0	1	0	4
杏林	1	0	2	1	2	6
北里	2	2	0	1	0	5
東京慈恵会医科	0	0	0	0	1	1
順天堂	0	0	0	0	1	1
昭和	1	0	0	0	1	2
聖マリアンナ医科	0	0	1	2	0	3
帝京	0	1	0	0	0	1
関西医科	0	0	0	0	1	1
東北医科薬科	1	0	0	0	0	1
日本	0	1	0	0	0	1
日本医科	0	1	0	1	0	2
久留米	0	1	0	0	0	1
計	7	8	6	7	7	35

令和6年度入試
四年制大学 現役進学率
88.8%

部活動活動実績

硬式野球部

- 第76回春季関東地区高等学校野球茨城県大会
 - 優勝
- 第76回春季関東地区高等学校野球大会
 - 準優勝
- 第73回土浦市長杯争奪高校野球大会
 - 優勝
- 第106回全国高等学校野球選手権茨城県大会
 - ベスト16
- 第77回秋季関東地区高等学校野球茨城県大会
 - ベスト4



男子バドミントン部

- 関東高等学校バドミントン大会茨城県予選会
 - 準優勝
- 関東高等学校バドミントン大会
 - ベスト8
- 団体
 - 優勝
- 全国総合体育大会
 - 出場【初鹿野 桜枝】
- ダブルス
 - 出場【青木 優斗】
- ジュニアオリンピックバドミントン大会茨城県予選会
 - 優勝【坪井 太志】
- ジュニアオリンピックバドミントン大会
 - 優勝【坪井 太志】
- シングルス
 - 出場【坪井 太志】
- シングルス
 - 出場【市村 惟翔】
- ダブルス
 - 出場【山口 智央】
- ダブルス
 - 出場【児玉 拓心】
- ダブルス
 - 出場【市村 惟翔】



女子バドミントン部

- 関東高等学校バドミントン大会
 - ベスト8
- 茨城県民総合体育大会兼国民体育大会茨城県予選会
 - 優勝【小林 羽音】
- シングルス
 - 2位【小林 羽音】
- ダブルス
 - (国体関東ブロック予選出場) 優勝【富士木 咲空】
 - (国体関東ブロック予選出場) 優勝【仁田 深月】
- ダブルス
 - (国体関東ブロック予選出場) 2位【富士木 咲空】
 - (国体関東ブロック予選出場) 2位【海津 希颯】
- ダブルス
 - (国体関東ブロック予選出場) 4位【海津 希颯】
- 全国高等学校総合体育大会バドミントン競技
 - 2回戦進出
- 団体
 - 出場【富士木 咲空】
- ダブルス
 - 出場【仁田 深月】
- シングルス
 - 2回戦進出【小林 羽音】
- シングルス
 - 出場【樋口 丹里】
- シングルス
 - 2回戦進出【樋口 丹里】
- ダブルス
 - 2回戦進出【草間 愛実】
- ダブルス
 - 2回戦進出【草間 愛実】
- ダブルス
 - 2回戦進出【鈴木 智子】
- ダブルス
 - 2回戦進出【戸倉 笑花】



水泳部

- 第75回関東高等学校水泳競技大会茨城県予選会
 - 200m自由形 1位【伏木 晃司】
 - 400m自由形 ※大会新 1位【伏木 晃司】
 - 200mバタフライ 3位【五十嵐 孝拓】
 - ※関東大会出場
 - 100mバタフライ 8位【五十嵐 孝拓】
 - 200m個人メドレー 1位【山本 勲太郎】
 - 200m個人メドレー 1位【山本 勲太郎】
 - 100m自由形 5位【山本 勲太郎】
 - 飛板飛込 1位【坂田 丹寧】
 - 高飛込 1位【坂田 丹寧】
 - 1500m自由形 1位【石川 達也】
 - 400m自由形 2位【石川 達也】
- 第92回関東高等学校選手権水泳競技大会兼第92回日本高等学校選手権水泳競技大会関東地域予選会
 - 女子飛板飛込 1位【坂田 丹寧】
 - 女子高飛込 2位【坂田 丹寧】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 100mバタフライ 出場【鈴木 寧枝】
 - 200mバタフライ 出場【鈴木 寧枝】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 200m平泳ぎ 6位【中澤 心暖】
 - 400m個人メドレー 5位【中澤 心暖】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 200m背泳ぎ 8位【福地 柊吾】
 - 100m背泳ぎ 出場【福地 柊吾】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 100mバタフライ 1位【吉村 花歩】
 - 200mバタフライ 出場【吉村 花歩】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 男子4×100mフリーリレー 出場
 - 【塚本大樹・伏木晃司・川向昊成・山本勲太郎】
 - ※インターハイ出場
- 第75回日本高等学校選手権水泳競技大会兼第75回日本高等学校選手権水泳競技大会兼第75回日本高等学校選手権水泳競技大会兼第75回日本高等学校選手権水泳競技大会兼
 - 女子飛板飛込 1位【坂田 丹寧】
 - 女子高飛込 2位【坂田 丹寧】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 100mバタフライ 出場【鈴木 寧枝】
 - 200mバタフライ 出場【鈴木 寧枝】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 200m平泳ぎ 6位【中澤 心暖】
 - 400m個人メドレー 5位【中澤 心暖】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 200m背泳ぎ 8位【福地 柊吾】
 - 100m背泳ぎ 出場【福地 柊吾】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 100mバタフライ 1位【吉村 花歩】
 - 200mバタフライ 出場【吉村 花歩】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 男子4×100mフリーリレー 出場
 - 【塚本大樹・伏木晃司・川向昊成・山本勲太郎】
 - ※インターハイ出場
- 第78回SAGA2024国民スポーツ大会水泳競技
 - 少年女子高飛込 優勝【坂田 丹寧】
 - 少年女子飛板飛込 優勝【坂田 丹寧】
 - 2024世界ジュニア選手権飛込競技大会 10位【坂田 丹寧】
 - 女子高飛込 18位【坂田 丹寧】
 - 女子3m飛板飛込 5位【坂田 丹寧】
 - チームイベント
- 第100回日本選手権水泳競技大会飛込競技
 - 女子高飛込 3位【坂田 丹寧】
 - 女子3m飛板飛込 7位【坂田 丹寧】
- 第47回JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会
 - 女子飛板飛込 優勝【坂田 丹寧】
 - 女子高飛込 優勝【坂田 丹寧】
 - 400m個人メドレー 1位【中澤 心暖】
 - 200m平泳ぎ 3位【中澤 心暖】
- 第92回日本高等学校選手権水泳競技大会
 - 女子飛板飛込 優勝【坂田 丹寧】
 - 女子高飛込 2位【坂田 丹寧】
- 全国高等学校総合体育大会水泳競技大会兼第92回日本高等学校選手権水泳競技大会兼
 - 女子飛板飛込 優勝【坂田 丹寧】
 - 女子高飛込 2位【坂田 丹寧】
- 第92回日本高等学校選手権水泳競技大会兼
 - 女子飛板飛込 優勝【坂田 丹寧】
 - 女子高飛込 2位【坂田 丹寧】
- 第75回日本高等学校選手権水泳競技大会兼第75回日本高等学校選手権水泳競技大会兼第75回日本高等学校選手権水泳競技大会兼
 - 女子飛板飛込 優勝【坂田 丹寧】
 - 女子高飛込 2位【坂田 丹寧】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 100mバタフライ 出場【鈴木 寧枝】
 - 200mバタフライ 出場【鈴木 寧枝】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 200m平泳ぎ 6位【中澤 心暖】
 - 400m個人メドレー 5位【中澤 心暖】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 200m背泳ぎ 8位【福地 柊吾】
 - 100m背泳ぎ 出場【福地 柊吾】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 100mバタフライ 1位【吉村 花歩】
 - 200mバタフライ 出場【吉村 花歩】
 - ※一種目インターハイ出場
 - 男子4×100mフリーリレー 出場
 - 【塚本大樹・伏木晃司・川向昊成・山本勲太郎】
 - ※インターハイ出場



男子バスケットボール部

- 関東高校バスケットボール大会茨城県南A地区予選会 **優勝**
- 関東高校バスケットボール大会茨城県予選会 **ベスト16**
- 全国高校総体バスケットボール競技茨城県南A地区予選会 **優勝**
- 全国高校総体バスケットボール競技茨城県予選会 **ベスト16**
- 全国高校選手権大会茨城県予選会 **ベスト16**
- 関東高校新人バスケットボール大会茨城県南A地区予選会 **3位**



女子バスケットボール部

- 関東高校バスケットボール大会茨城県南A地区予選会 **3位**
- 関東高校バスケットボール大会茨城県予選会 **ベスト16**
- 全国高校総体バスケットボール競技茨城県南A地区予選会 **優勝**
- 全国高校総体バスケットボール競技茨城県予選会 **ベスト16**
- 全国高校総体バスケットボール競技茨城県予選会 **ベスト16**
- 関東高校新人バスケットボール大会茨城県南A地区予選会 **3位**

卓球部

- 全国高校卓球選手権大会関東南地区予選会 **優勝**
- 男子団体 **優勝**
- 女子団体 **優勝**
- 茨城卓球選手権大会ジュニアの部兼全日本卓球選手権大会ジュニアの部関東南地区2次予選会 **優勝【金子 有沙】**
- 女子ダブルス **優勝【八重樫 奈々】**
- 女子ダブルス **3位【田中 心悠】**
- 女子ダブルス **3位【加藤 志菜】**
- 県南地区高等学校卓球新人戦 **優勝**
- 女子団体 **優勝**
- 男子ダブルス **3位【黒木 魁人】**
- 男子ダブルス **3位【堺 悠航】**
- 女子ダブルス **優勝【金子 有沙】**
- 女子ダブルス **優勝【八重樫 奈々】**
- 女子ダブルス **準優勝【田中 心悠】**
- 女子ダブルス **準優勝【加藤 志菜】**
- 女子シングルス **優勝【金子 有沙】**



テニス部

- インターハイ茨城県予選 **優勝【関口 七映】**
- 女子シングルス **3位【寺坂 芽依】**
- 女子ダブルス **3位【関口 七映】**
- 女子ダブルス **優勝【布谷 和樹】**
- 男子ダブルス **優勝【野田 龍樹】**
- 男子ダブルス **3位**
- 茨城県高校テニス新人大会 **3位**
- 女子団体 **3位**



ゴルフ部

- 関東ジュニアゴルフ選手権競技大会茨城県予選会 **個人 予選通過【関東大会出場】** [間中 鈴子]
- 関東高等学校ゴルフ選手権決勝夏季大会 **個人** [間中 鈴子]
- 関東ジュニアゴルフ選手権競技大会 **個人 予選通過【日本ジュニア出場】** [間中 鈴子]
- 日本ジュニアゴルフ選手権競技大会 **個人** [間中 鈴子]
- 関東高等学校ゴルフ選手権冬季決勝大会 **個人** [間中 鈴子]
- 東関東地区予選 **個人** [田村 歩夢]



吹奏楽部

- 第64回茨城県吹奏楽コンクール関東南地区大会 **高校生の部 C部門** **優秀賞**
- 第64回茨城県吹奏楽コンクール高校生の部 **A部門** **金賞**
- 第30回東関東吹奏楽コンクール高校生の部 **A部門** **金賞**
- 第59回茨城県アンサンブルコンテスト関東南地区大会 **クラリネット6重奏** **優秀賞**
- 第59回茨城県アンサンブルコンテスト **クラリネット6重奏** **優秀賞**
- 第59回茨城県アンサンブルコンテスト **クラリネット6重奏** **金賞**
- 第59回茨城県アンサンブルコンテスト **クラリネット6重奏** **金賞**



JRC

- ヤングボランティア育成研修・実施研修
- 個人 修了【白倉 慎太郎】
- 個人 修了【下条 心】
- 個人 修了【矢口 あかね】
- 個人 修了【田島 あい】
- 個人 修了【久保田 菜桜】
- 個人 修了【朝岡 真彩】
- 個人 修了【黄 天杭】
- 個人 修了【玉木 奎太】
- 個人 修了【小川 由翔】
- 個人 修了【横瀬 日葵】
- 個人 修了【吉田 愛梨】
- 個人 修了【新村 權】
- 個人 修了【野口 悠太郎】
- 個人 修了【伊藤 稜馬】
- 個人 修了【清水 上総】
- 個人 修了【河村 美羽】
- 茨城県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター
- 個人 参加【村野 杏】
- 個人 参加【平賀 千愛】
- 個人 参加【田端 菜々子】
- 個人 参加【久保田 菜桜】
- 個人 参加【白井 万葉菜】
- 青少年ワークショップ(青少年福祉体験)
- 個人 参加【田端 菜々子】
- 個人 参加【飯島 雄介】
- 個人 参加【白倉 慎太郎】
- 個人 参加【秦 萌々花】
- 茨城県青少年赤十字指導者協議会褒賞
- 個人 受賞【大黒 亜峰】
- 個人 受賞【鈴木 理歩】
- 個人 受賞【佐久間 明日理】
- 筑波山麓ジャズフェスティバルボランティア
- 個人 参加
- 筑波山麓ジャズフェスティバルボランティア
- 個人 参加
- いばらきK1ライドボランティア
- 団体 参加



書道部

第53回四国大学全国高校書道展

- 個人 準特選【工藤 莉麻】
- 個人 準特選【土田 ひより】
- 個人 準特選【兒玉 奈々】
- 個人 準特選【星野 莉々果】
- 個人 準特選【菅原 さくら】
- 個人 準特選【石塚 萌穂】
- 第40回高円宮杯日本武道館書写書道大展覽会
- 個人 大会奨励賞【飯泉 空良】
- 個人 大会奨励賞【河合 一樹】
- 個人 特選【工藤 莉麻】

写真部

第48回全国高等学校総合文化祭写真部門

- 個人 奨励賞【吉田 真彩】
- 茨城県高等学校総合文化祭美術展 写真部門
- 個人 優秀賞【吉田 真彩】
- 個人 茨城県教育長賞【吉田 真彩】
- 個人 茨城県教育長賞【西尾 香澄】
- 個人 茨城県教育長賞【斎藤 瑞樹】
- 個人 茨城県教育長賞【小林 由祈】
- 個人 茨城県教育長賞【永山 優莉】
- 個人 茨城県教育長賞【田端 菜々子】
- 個人 茨城県教育長賞【野口 和笑】

美術部

茨城県高等学校総合文化祭 美術工芸の部

入選【小澤 くらら】

第77回土浦市美術展覧会

- 個人 奨励賞受賞【吉野 胡桃】
- 個人 奨励賞受賞【檀 菜月】
- 個人 入選【大和田 優奈】
- 個人 入選【根岸 花乃】
- 個人 入選【青山 梢恵】
- 個人 入選【小澤 くらら】
- 個人 入選【松崎 涼花】
- 個人 入選【木村 絢香】
- 個人 入選【岡野 敬仁】
- 個人 入選【岸口 倫士】
- 個人 入選【山口 稟央】
- 個人 入選【岡野 悠華】

競技かるた部

第31回関東地区高等学校小倉百人一首かるた大会

- 個人 県代表Bチーム選抜 【千國 裕希乃】
- 個人 県代表Aチーム選抜 【中村 優菜】

演劇部

茨城県高等学校演劇連盟

第38回県南A地区高等学校演劇祭

優良賞



令和6年度 常総学院高等学校同窓会役員

役職	期卒業	氏名	役職	期卒業	氏名
会長	1	飯田 晃久	監事	10	植田 美幸
副会長	2	伊藤 哲也	監事	-	前川 信史
副会長	4	伊沢 勝徳	監事	27	國井 伸二郎
副会長	4	泉 琢磨	校内幹事	3	飯塚 康弘
副会長	6	山口 大次	校内幹事	4	櫻井 直己
幹事	1	酒井 覚	校内幹事	4	仲野谷 宗治
幹事	3	塚崎 雅之	校内幹事	5	磯部 和弘
幹事	4	藤野 明美	校内幹事	8	田中 光恵
幹事	6	永井 一正	校内幹事	9	大海 聖賀
幹事	6	塚本 勝則	校内幹事	11	青柳 隆雄
幹事	6	浅倉 正道	校内幹事	12	片山 章
幹事	11	平井 修司	校内幹事	16	牧野 絵美
幹事	16	高中 学	校内幹事	16	谷川 義宜
幹事	17	上原 拓也	校内幹事	16	大久保 実
幹事	18	藤岡 誠	校内幹事	19	松林 康徳
幹事	19	中川 弘一郎	校内幹事	20	櫻井 堯史
幹事	21	櫻井 勝	校内幹事	22	相澤 理沙
幹事	21	妹川 勝介	校内幹事	22	川越 まり
幹事	24	乙高 優人	校内幹事	23	中島 成美
幹事	25	内田 大樹	校内幹事	25	宮本 菜
幹事	26	高野 萌香	校内幹事	25	柴山 紗矢香
幹事	30	横川 みなみ	校内幹事	26	堀越 早紀
幹事	30	邊春 祥宏	校内幹事	26	萩原 奈緒
幹事	32	藤野 和輝	校内幹事	26	清和 潤
幹事	34	高野 俊也	校内幹事	31	千代 絃之
幹事	37	酒井 春樹	校内幹事	32	中島 健吾
幹事	37	高橋 美百	校内幹事	32	樽谷 三奈
幹事	38	千葉 万緒里	校内幹事	33	小島 奈々花
幹事	38	周東 愛翔	校内幹事	34	秋山 愛結
幹事	38	古谷 太	校内幹事	34	谷野 優香
幹事	39	矢作 純平	特別会員	-	小松崎 栄治
幹事	39	古谷 元	特別会員	-	杉田 慎吾
			特別会員	-	熊田 定由
			特別会員	-	荒井 幸恵
			特別会員	-	大毛 道弘
			特別会員	-	坂入 裕一
			顧問	-	大久保 政行
			顧問	-	櫻井 平
			顧問	-	壁谷 恵
			顧問	-	坂田 英一

令和6年度 常総学院高等学校同窓会予算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

▼収入の部 (単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1.会費	7,290,000	7,260,000	30,000	
卒業生会費	990,000	1,290,000	▲300,000	終身会費30名、年会員30名
在校生会費	6,300,000	5,970,000	330,000	終身会費17人、会員579人
2.雑収入	100,000	100,000	0	
3.前年度繰越金	74,310,447	74,724,204	▲413,757	
収入の部計	81,700,447	82,084,204	▲383,757	

▼支出の部 (単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1.消耗品費	100,000	100,000	0	事務用品等
2.通信運搬費	1,500,000	1,500,000	0	会報誌郵送等
3.印刷製本費	500,000	500,000	0	会報誌印刷等
4.会議費	500,000	500,000	0	
5.旅費交通費	300,000	500,000	▲200,000	
6.部活動補助費	5,000,000	3,500,000	1,500,000	
7.記念品費	1,500,000	1,500,000	0	生徒手帳、コサージュ等
8.広報費	2,000,000	2,500,000	▲500,000	HP、公式LINE等
9.行事費	10,000,000	200,000	98,000,000	空気清浄機77台寄贈
10.雑費	500,000	200,000	300,000	公式グッズ作成費用等
11.次年度繰越金	59,800,447	71,084,204	▲2,283,757	
支出の部計	81,700,447	82,084,204	▲383,757	

※項目間の彼此流用することができる。
 【補正予算計上】
 令和6年8月、行事費に於いて補正予算を計上。(1,000,000円→10,000,000円に補正)
 令和7年度に計画をしていた、空気清浄機寄贈事業を前倒しで実施することと致しました。
 事由:複数社見積を比較・検討を行った際に、販売会社から好条件の提示があった為。
 本来想定していた購入額:220,000円×77台=16,940,000円
 販売会社からの提案金額:110,000円×77台=8,470,000円
 そのほか備品購入等の費用を鑑みても、9,000,000円ほどで着手可能。
 費用面とウィルス性流行病等への早期対策として今期実施することが望ましいと判断致しました。
 1. 卒業生への入会費30人、年会費30人を収入予定額として計上致しました。
 2. 令和6年度事業計画案に基づき予算を編成致しました。
悪質な電話や振り込み詐欺にご注意ください!
 同窓会事務局を名乗って、電話やメールなどで金銭等を支払わせる事件が多発しております。不信なメールや電話、勧誘や調査の名目などであっても、即答はせず必ず同窓会事務局へお問い合わせください

令和6年度 常総学院高等学校同窓会会務分担表(案)

担当	本部役員	学校	主な業務	担当	本部役員	学校	主な業務		
総務	副会長 泉 琢磨	酒井 覚 藤野 明美	飯塚 康弘 仲野谷 宗治 櫻井 堯史	事務局	副会長 伊沢 勝徳	内田 大樹 高野 萌香 横川 みなみ 邊春 祥宏 藤野 和輝 高野 俊也 酒井 春樹 高橋 美百	青柳 隆雄 片山 章 田中 光恵 櫻井 直己 大久保 実	会議の招集・設営・進行 同窓会の総括的業務	事務局と相互連携
経理	副会長 伊藤 哲也	永井 一正 塚本 勝則	磯部 和弘 大海 聖賀	監事		植田 美幸	前川 信史 國井 伸二郎	予算編成と執行・決算 諸会費等の徴収	本会会計の監査
会報	副会長 山口 大次	平井 修司 高中 学 上原 拓也 藤岡 誠 中川 弘一郎 櫻井 勝 妹川 勝介 乙高 優人	牧野 絵美 谷川 義宜 松林 康徳 相澤 理沙 川越 まり 中島 成美 宮本 菜 堀越 早紀 萩原 奈緒 清和 潤 千代 絃之 柴山 紗矢香 秋山 愛結 谷野 優香					会報の編集・発行	

令和7年度 常総学院高等学校同窓会事業(案)

- ・高校ならびに中学校新入生に生徒手帳を寄贈
- ・観葉植物の寄贈、ボランティア活動などSDGsを通じた学校との連携並びに補助
- ・公式LINEならびにホームページ運営と機能拡張
- ・同窓会会報誌発行
- ・卒業生へのコサージュ寄贈等生徒会補助
- ・常総屋の運営、卒業生などによる同窓会主催講演会の実施
- ・地域掃除活動への協賛
- ・そのほか卒業生による活動への助成等

※当会の会則については、ホームページをご参照ください。

ここ
常総学院 にある
一人ひとりの目標に応える魅力的な学びが

特進選抜コース エクセレント (Ex) クラス

東京大学や医学部医学科・早慶上理など、超難関大学への合格をめざす

特進選抜コース 特進クラス

旧帝大をはじめとする、難関国公立大学への合格をめざす

進学選抜コース プロGRESS

発展的なカリキュラムで、多様なニーズに対応

進学選抜コース フロンティア

オールラウンドに挑戦し、有名大学への合格をめざす

中高一貫コース

多様な体験で未来を生きる力へ、6年一貫カリキュラムで優位な進路選択へ



個別見学、随時受付中!! (要予約)
お気軽に入試広報部までお問い合わせください。



学校法人 **常総学院**

〒300-0849 茨城県土浦市中村西根1010番地
TEL 高校 029-842-8771(代)・中学校 029-842-0708(代)

詳しくは、ホームページをご確認ください。

常総学院

検索

<https://joso.ac.jp/>

編集後記

卒業すると母校の様子を知る機会は少なくなるもので、街中で制服を見かけたり、新聞記事に名前を見つけたりしたときに、懐かしさを覚えるのではないのでしょうか。

常総学院高等学校は、今年度創立四十二年目、常総学院中学校は創立二十九年目を迎えました。同窓生の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。

今年度も無事に同窓会誌を発刊することができました。作成にあたり、多くの卒業生、常総学院中高の在校生・教職員の皆様のご協力を頂いております。編集委員を代表致しましてこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、おかげ様で公式LINEやHPでの情報公開もご好評頂いております。これまでも増して卒業生の皆様に在校生や学校の様子を分かりやすくタイムリーな情報発信を続けて参ります。今後の社会において「繋がりはますます重要なものになる」といわれます。二万五千人を超える本校卒業生同士が同窓会活動を通じて繋がるきっかけの一助となれば幸いです。

同窓生の方々の中で、会報誌への寄稿や編集、ホームページの運営を始め、同窓会として実現できる諸活動に対しご興味ある方がいらつしやいましたら、ぜひ学校へご連絡ください。同窓会事務局(029-842-8771)、もしくは常総学院同窓会HPの問い合わせ窓口までメールを頂きますと幸いです。

最後になりますが、今後の皆様の益々の御活躍を祈願いたしまして、編集後記とさせていただきます。

同窓会校内幹事代表 松林 康德
編集委員一同